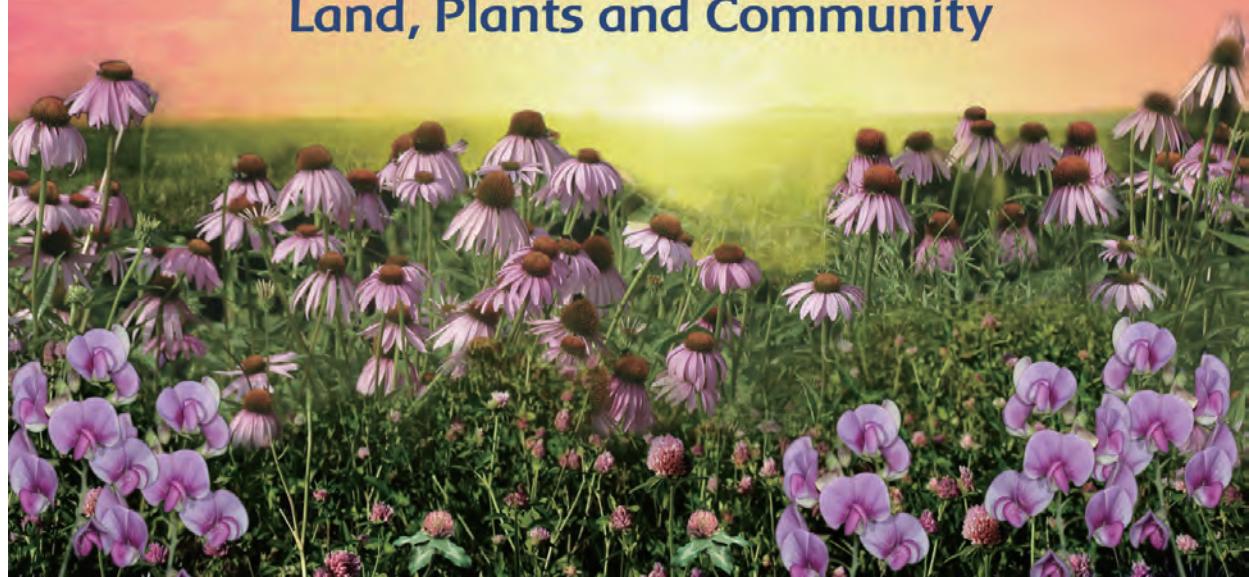


# Magenta Mantle

For Regeneration of  
Land, Plants and Community

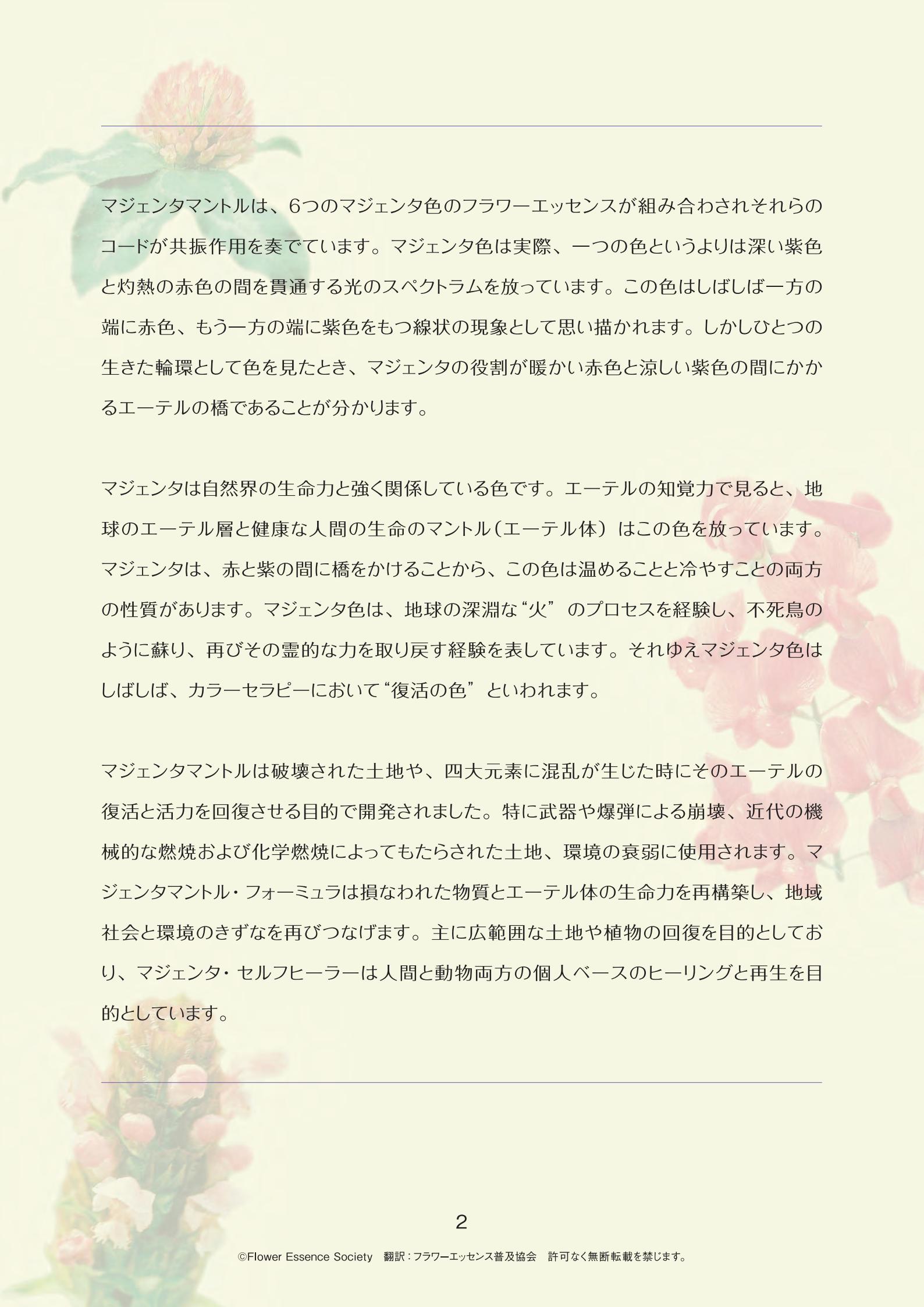


## マジエンタマントル

〔土地、植物、コミュニティのための再生フォーミュラ〕

マジエンタマントルは、1991年、カリフォルニア州、オークランドで発生した火災の時に初めて登場しました。この火災で300軒の家が焼け、土地は荒廃しそこに住む多くの人々が焼け出されました。人々が被った多大な損失に対処するために、火災によって荒廃してしまった土地を再生するために、そしてコミュニティに新しいきずなを構築するためにマジエンタマントルは多くの人々を助けました。それ以来このフォーミュラは、環境再生のために世界の多くの国々で使用されています。





---

マジエンタマントルは、6つのマジエンタ色のフラワーエッセンスが組み合わされそれらのコードが共振作用を奏でています。マジエンタ色は実際、一つの色というよりは深い紫色と灼熱の赤色の間を貫通する光のスペクトラムを放っています。この色はしばしば一方の端に赤色、もう一方の端に紫色をもつ線状の現象として思い描かれます。しかしひとつの生きた輪環として色を見たとき、マジエンタの役割が暖かい赤色と涼しい紫色の間にかかるエーテルの橋であることが分かります。

マジエンタは自然界の生命力と強く関係している色です。エーテルの知覚力で見ると、地球のエーテル層と健康な人間の生命のマントル(エーテル体)はこの色を放っています。マジエンタは、赤と紫の間に橋をかけることから、この色は温めることと冷やすことの両方の性質があります。マジエンタ色は、地球の深淵な“火”のプロセスを経験し、不死鳥のように蘇り、再びその靈的な力を取り戻す経験を表しています。それゆえマジエンタ色はしばしば、カラーセラピーにおいて“復活の色”といわれます。

マジエンタマントルは破壊された土地や、四大元素に混乱が生じた時にそのエーテルの復活と活力を回復させる目的で開発されました。特に武器や爆弾による崩壊、近代の機械的な燃焼および化学燃焼によってもたらされた土地、環境の衰弱に使用されます。マジエンタマントル・フォーミュラは損なわれた物質とエーテル体の生命力を再構築し、地域社会と環境のきずなを再びつなげます。主に広範囲な土地や植物の回復を目的としており、マジエンタ・セルフヒーラーは人間と動物両方の個人ベースのヒーリングと再生を目的としています。

---

# 使 用 方 法

## ■ 小スペースに使用する場合

植物に使用する場合は、別にミストボトルを用意します。30 mlサイズに3~4プッシュ入れ、完全にエネルギーが調和するまで1分以上リズミカルに軽くシェイクします。必要に応じて1日2回以上、植物のまわりにスプレーします。

## ■ 広範囲なスペースに使用する場合

土地や広範囲な場所に使用するときは、市販のバックパック・スプレーを利用するとよいでしょう。

- マジンタマントルを使用するのにふさわしいエネルギーのバックパック・スプレーを購入します。  
16~24リッターサイズがよいでしょう。
- バックパック・スプレーの2倍以上の大きさのバケツを用意し、そこに清潔な水を入れます。
- 4リッターの水に対してマジンタマントルを5~6プッシュ入れます。
- 水の中心に深い渦ができるよう、回転を無くさないように、時計まわり、反時計回りに交互にかき混ぜます。
- 最低5分以上攪拌します。バイオダイナミック調合剤を使用する場合はさらに長く行います。  
(以下参照) 水に調合剤がしっかりと溶け、さらに活性化するまで攪拌します。
- 攪拌した水をすぐにバックパック・スプレーに入れます。地表と空気中に噴霧します。このレメディは土地のエーテル層に浸透させることが目的ですので、特定の場所や物に浸みこませようとする必要はありません。行おうしているできるだけ広い領域をカバーすることが重要です。この処置は、地球の生命力が上昇する時と下降する時間帯の夜明けもしくは夕暮れ時に行うのが一番適しています。雨や雪の降る前に行うことも効果的です。準備から実施までの間、内面の静けさを保って土地と四代元素のエネルギーと共同作業をすることが、このレメディの意図を高め、さらにエレメンタル(元素)の世界とのつながりを強めてくれるでしょう。

\* マジンタマントルは、ある一定のリズムをもって使用することが大切です。厳しい状態にある場合は、7日間毎に行うのが理想的です。このフォーミュラは、満月や新月といった月の満ち欠けに従って使用することもできます。使用期間は、ヒーリングの状態により異なってきます。荒廃した土地は、少なくとも1年間は継続して使用することが必要となるでしょう。特定の植物を扱う場合は、毎日早朝もしくは夕暮れに行うと大変効果的です。

## ■バイオダイナミック調合剤500との併用

マジエンタマントルは、牛の角調合剤として知られるバイオダイナミック調合剤500と併用して、大変よい共鳴作用を起こします。この調合剤は、バイオダイナミック農業のためにルドルフ・シュタイナーによって開発されたもので、さまざまな自然の保湿剤の性質をもち土壤の回復と再生に大きな働きをします。一般に良く知られた調合剤で、農場やガーデンでの使用に大変推奨されています。マジエンタマントルと組み合わされるとユニークな性質をもつヒーリング・フォーミュラが出来上がります。

上記の方法でBD500をマジエンタマントルに混ぜた場合に、攪拌は1時間行ってください。

BD500の代わりに、パイフェルフィールド・スプレー(Pfeiffer Field Spray) やバレルコンポスト・スプレー(Barrel Compost Spray) を使用してもよいでしょう。これらの調合剤を使用する場合には、一般に20分間攪拌します。バイオダイナミック調合剤の入手と詳しい情報は、Biodynamic Agricultureにお問い合わせください。

The Josephine Porter Institute  
PO Box 133, Woolwine, VA 24185-0133  
Phone: 276-930-2463 Fax: 276-930-2475  
[www.appliedbiodynamics.org/](http://www.appliedbiodynamics.org/)

### ★日本での入手先

フラワーエッセンス普及協会では、「生活学校バイオダイナミックファーム」さんのご協力により、バイオダイナミック調合剤 BD500とマリアトゥーン調合剤を無料にて提供できることになりました。震災と津波、及び放射能によってダメージを受けた土地の回復と浄化を、バイオダイナミック農法で試みてみたい方など、ご希望の方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

### ★マリアトゥーン調合牛糞について

FAL(連邦農業研究所) [www.fal.de](http://www.fal.de)の年間報告によると、 Chernobyl原発事故の後の調査で、マリアトゥーン調合剤を使用していたバイオダイナミック農家においては、土地のウラン含有量が著しく低い値を示したと述べたという資料があります。

\*資料提供：生活学校バイオダイナミックファーム

### 生活学校バイオダイナミックファーム

連絡先：〒089-3443 北海道中川郡本別町西美里別707-1

tel: 090-5959-3660 <http://www.oubdfarm.com>

## 使用されているフラワーエッセンス

### ●Fireweed／ファイアーウィード



ファイアーウィードの植物は、山火事で荒廃した森林や、実際には第二次世界大戦の時に空襲で焼け野原となったロンドンで素早く芽を出しひんぐん成長した記録があり、地球の癒し手と言われます。この植物は文字通り、灰の中から蘇る不死鳥のようにエーテルの再生をもたらします。

### ●Red Clover／レッドクローバー



レッド(赤い) クローバーは、実際にはマジンタの美しい色合いをしています。ハーブとしては、特に血液の浄化の性質があることで知られています。農業の観点からは、すべてのクローバーは、土壤に空気の元素を再生するという“窒素定着剤”としてのめざましい働きがあります。レッドクローバーのフラワーエッセンスは、恐れ、パニック、集団ヒステリーなどを浄化し、魂を体に戻し生命エネルギーに錨をおろすグラウンディング・レメディです。

### ●Sweet Pea／スイートピー



レッドクローバーと同じようにスイートピーは、窒素定着剤の役割をするマメ科の植物です。この地面低く育つる性の植物は、フェンスや他の植物にからみついて育ちます。野生の植物は、実際には庭の外で育ちますが、決まって民家の近くで見られます。スイートピーのフラワーエッセンスは、建物の建設や土地の耕作といった人間のエネルギーとエレメンタル(元素)のエネルギーとの間に、興味深い橋をかけます。このフラワーエッセンスは、地上における“居場所”の感覚を取り戻し、土地のエレメンタルとの強力な関係性を構築し、人類にそこに存在する感覚と定着への意志を覺めさせます。

### ●Self Heal／セルフヒール



セルフヒールは、ヒーリングのプロセスを刺激し、エーテル体の生命力を覺めさせ、あらゆる癒しの核心に働きかけます。めざましい再生力と回復力の性質をもつフラワーエッセンスです

## ●Echinacea／エケネイシャ



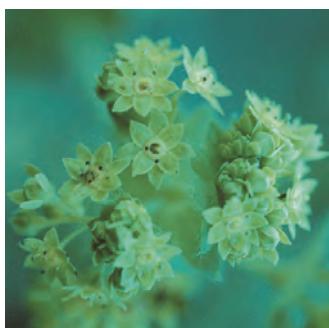
薬草としてのエケネイシャは、免疫システムを高めることで知られています。深刻な出来事によって心が碎かれてしまった時、エケネイシャのフラワーエッセンスは、個性とアイデンティティを再構築します。これらの性質は、人間のからだと魂だけでなく土地のエレメンタル（元素）の個別性をも回復し、再生させます。

## ●Sierra Primrose／シェラプリムローズ



シェラプリムローズは、山の非常に標高の高い場所で、春のヴァージンスノーが太陽の暖かさで溶け始めるころに開花します。この植物は雪の結晶が水に変わろうとしている時に、その純粋な結晶を受け取ります。花は甘くかぐわしい香りを放ち、輝くばかりのマジエンタ色をしています。その姿は、水のように流れる生命と暖かな太陽の光が融合し、その内で互いに一つの輝きを放っているように感じられ、それが生命力の本質であると語っているようです。シェラプリムローズは、マジエンタマントル・フォーミュラの全体に非常に高い光と活力を浸み込ませ、荒廃し生命を失った土地と周辺の環境を癒し、変容させる手助けをします。

## ●Lady's Mantle／レディスマントル



丸い緑色の葉と、めずらしい黄緑のシャトルルーズ色の花を咲かせるこの素晴らしい植物は、大地に近く低く育ちます。レディスマントルは、強力な常磁性の性質をもち朝露と雨を引きつけ、蓄えます。アルケミストたちはこの植物を高く崇拝し、レディスマントルの朝露を集め、さまざまな治療薬に使用しました。このことからラテン名で *Allchemilla*（アルケミラ）と呼ばれます。水はすべての生命の基本です。レディスマントルは、水分を引き寄せ加え、力を生み出します。それゆえ、緑のヒーリングのフォースが、荒廃し破壊された大地へと帰ってくるのです。このフォーミュラの他の花はマジエンタ色ですが、このユニークな緑色の花の植物が、相補的な極性を形成しています。それは、自然界の緑のマントの土台の中核に錨をおろすことにより、他のマジエンタ色の花々の再生能力が再びチャージされ、引き出されるのです。

\*この解説は、FES(Flower Essence Society) 発行の資料に基づいて制作されました。許可なく無断転載を禁じます。

©フラワーエッセンス普及協会 写真提供: ©Flower Essence Society